

# 令和 6 年度 病院情報の公表

印刷用PDF >>

医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）

## 病院指標

- 1. [年齢階級別退院患者数](#)
- 2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）](#)
- 3. [初発の 5 大癌のUICC病期分類並びに再発患者数](#)
- 4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
- 5. [脳梗塞の患者数等](#)
- 6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）](#)
- 7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

## 医療の質指標

- 1. [リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率](#)
- 2. [血液培養 2 セット実施率](#)
- 3. [広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率](#)
- 4. [転倒・転落発生率](#)
- 5. [転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率](#)
- 6. [手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率](#)
- 7. [d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率](#)
- 8. [65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合](#)
- 9. [身体的拘束の実施率](#)

## 病院指標

年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	1348	418	386	578	780	1258	2056	3384	1898	286

当院は総合周産期母子医療センターを設置しているため、年齢区分「0～」の患者数が多くなっています。  
また地域医療支援病院として、地域のかかりつけ医と連携し幅広い年齢層の受け入れを行っています。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

### ■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等 1 なし、1, 2 あり 手術・処置等 2 なし	276	3.67	4.18	1.09%	71.18	
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1 あり 手術・処置等 2 なし	240	2.90	3.07	0.83%	72.10	
050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 2 あり 手術・処置等 2 なし	186	2.98	3.27	0.00%	71.12	
050070xx03x0xx	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等 2 なし	77	3.75	4.47	0.00%	67.05	
050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等 1 1 あり 手術・処置等 2 なし	46	8.48	14.08	0.00%	72.33	

心疾患に対してのカテーテル検査、経皮的冠動脈形成術の治療が上位を占めています。  
不整脈に対するカテーテルアブレーション治療が増加しています。

■ 内分泌・代謝内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
10007xxxxxx1xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等 2 1あり	79	12.15	13.77	7.59%	64.04	
10007xxxxxx0xx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等 2 なし	43	10.26	10.46	0.00%	60.60	
100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	16	10.56	13.07	0.00%	49.25	
100202xxxxxx0x	その他の副腎皮質機能低下症 定義副傷病 なし	-	-	8.86	-	-	
100393xx99xxxx	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害 手術なし	-	-	9.83	-	-	

2型糖尿病に対しての教育入院や、インスリン治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例については「-」で表示しています。

■ 消化管内科・肝胆膵内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	117	2.74	2.57	0.00%	67.95	
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	72	8.50	8.88	12.50%	76.43	
060020xx04xxxx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	35	7.63	7.45	0.00%	72.97	
060300xx9900x2	肝硬変（胆汁性肝硬変を含む。） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし Child-Pugh分類 C（10点以上15点以下）	23	5.78	15.08	8.70%	77.22	
060340xx99x0xx	胆管（肝内外）結石、胆管炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	20	8.35	9.45	5.00%	71.35	

ポリープ切除術や、胆道ステント留置術等の内視鏡的治療が上位を占めています。

■ 腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110280xx991xxx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 あり	26	4.15	6.01	0.00%	47.12	
110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	22	14.14	13.75	9.09%	71.27	
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	21	14.43	11.35	4.76%	52.38	
110260xx99x3xx	ネフローゼ症候群 手術なし 手術・処置等 2 3あり	15	4.00	4.97	0.00%	48.60	
110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等 2 1あり	14	25.43	33.81	14.29%	71.79	

慢性腎不全、自己免疫性疾患、ネフローゼ症候群に対しての治療が上位を占めています。

■呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義 副傷病 なし	58	5.78	8.16	0.00%	70.88	
0400802499x0xx	肺炎等 (市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等 2 なし	47	16.81	16.40	19.15%	82.85	
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等 1 なし 手 術・処置等 2 なし	47	14.94	18.68	14.89%	73.36	
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	32	4.56	3.03	0.00%	73.31	
040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 5あり	23	20.65	18.72	0.00%	74.04	

肺癌に対する化学療法による治療や肺炎に対する治療が上位を占めています。

■血液内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
130030xx99xBxx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処 置等 2 Bあり	59	13.69	12.23	0.00%	67.59	
130010xx97x2xx	急性白血病 手術あり 手術・処置等 2 2あり	49	34.67	35.63	4.08%	53.98	
130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 手術・ 処置等 2 4あり	38	9.00	9.72	0.00%	70.32	
130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手 術なし 手術・処置等 2 5あり	33	15.27	14.69	3.03%	73.91	
130060xx97x40x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処 置等 2 4あり 定義副傷病 なし	29	21.90	18.57	3.45%	75.76	
130010xx99x9xx	急性白血病 手術なし 手術・処置等 2 9あり	29	14.14	12.45	0.00%	70.66	
130030xx99x4xx	非ホジキンリンパ腫 手術なし 手術・処 置等 2 4あり	29	9.21	8.65	0.00%	82.07	

悪性リンパ腫、急性白血病に対する化学療法による治療が上位を占めています。

■脳神経内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
010110xxxxx40x	免疫介在性・炎症性ニューロパチー 手 術・処置等 2 4あり 定義副傷病 なし	41	23.61	15.45	34.15%	62.29	
010060xx99x40x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等 2 4 あり 定義副傷病 なし	37	19.86	16.89	59.46%	69.03	
010080xx99x0x1	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 手 術・処置等 2 なし 15歳以上	25	16.92	15.94	16.00%	48.16	
010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 な し 定義副傷病 なし	22	8.18	6.89	4.55%	51.05	
010170xx99x00x	基底核等の変性疾患 手術なし 手術・ 処置等 2 なし 定義副傷病 なし	15	16.53	14.97	13.33%	71.33	

ギラン・バレー症候群などの末梢神経障害、脳梗塞、髄膜炎・脳炎、てんかんに対する治療が上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

## ■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
0400801199x0xx	肺炎等（1歳以上15歳未満）手術なし 手術・処置等 2 なし	66	8.39	5.61	3.03%	5.58	
060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2 なし	58	4.98	5.55	0.00%	5.57	
040090xxxxxxxxx	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症（その他）	49	8.29	6.22	0.00%	1.88	
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	44	7.34	6.38	4.55%	4.16	
180030xxxxxx0x	その他の感染症（真菌を除く。） 定義副傷病 なし	35	7.43	8.02	0.00%	3.11	

5歳以下の入院患者さんが多く、喘息や感染症に対しての治療が上位を占めています。

## ■新生児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
140010x199x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（2500g以上）手術なし 手術・処置等 2 なし	140	9.86	6.11	4.29%	0.00	
140010x199x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（2500g以上）手術なし 手術・処置等 2 1あり	55	17.36	10.60	0.00%	0.00	
140010x299x0xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（1500g以上2500g未満）手術なし 手術・処置等 2 なし	47	15.94	11.83	2.13%	0.00	
140010x299x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（1500g以上2500g未満）手術なし 手術・処置等 2 1あり	37	30.95	23.19	2.70%	0.00	
140010x197x1xx	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（2500g以上）手術あり 手術・処置等 2 1あり	19	17.53	12.22	5.26%	0.00	

総合周産期母子医療センターを設置しているため、早産による低出生体重児や、その他の様々な疾患を持つ新生児を受け入れています。

## ■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
090010xx010xxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む。））等 手術・処置等 1 なし	132	14.96	9.77	0.76%	67.22	
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上）ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	78	5.29	4.54	1.28%	71.10	
060035xx0100xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	56	15.55	14.81	3.57%	72.82	
060035xx99x4xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり	50	3.42	4.18	6.00%	68.34	
090010xx02xxxx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	49	7.10	5.50	0.00%	58.16	

「消化器外科」と「乳腺外科」の患者数を合算して集計しています。  
手術と術後の化学療法による治療が上位を占めています。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	79	19.06	25.29	82.28%	79.61	
07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	31	24.97	18.76	9.68%	70.68	
070230xx01xxxx	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	20	25.05	21.38	0.00%	73.30	
160740xx02xx0x	肘関節周辺の骨折・脱臼 骨内異物（挿入物を含む。）除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿等 定義副傷病 なし	17	2.41	2.96	0.00%	5.65	
160760xx01xxxx	前腕の骨折 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨等	16	11.25	5.95	12.50%	71.88	
160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く。）、足、指（手、足）その他等	16	26.44	17.84	43.75%	55.50	

大腿骨骨折や股関節症に対する治療が上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

■ 形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
070010xx970xxx	骨軟部の良性腫瘍（脊椎脊髄を除く。）手術あり 手術・処置等 1 なし	32	4.88	4.65	0.00%	44.56	
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等 1 なし	14	4.43	3.77	0.00%	28.36	
070570xx010xxx	瘢痕拘縮 瘢痕拘縮形成手術 手術・処置等 1 なし	10	5.20	5.31	0.00%	42.00	
180060xx97xxxx	その他の新生物 手術あり	-	-	5.63	-	-	
020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等 2 なし	-	-	2.74	-	-	
161000x102x0xx	熱傷・化学熱傷・凍傷・電撃傷（Burn Index10未満）分層植皮術 2 5平方センチメートル未満等 手術・処置等 2 なし	-	-	26.97	-	-	
080180xx970xxx	母斑、母斑症 手術あり 手術・処置等 1 なし	-	-	3.79	-	-	

脂肪腫等の良性軟部組織腫瘍に対する治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	17	14.76	9.83	58.82%	74.53	
010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜 下血腫以外）（JCS10未満） 手術 なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置 等 2 なし 定義副傷病 なし	13	21.46	18.68	84.62%	72.00	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処 置等 2 なし 定義副傷病 なし	11	14.73	7.99	45.45%	70.27	
010040x199x0xx	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜 下血腫以外）（JCS10以上） 手術 なし 手術・処置等 2 なし	-	-	22.21	-	-	
160100xx97x01x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 あり	-	-	22.15	-	-	

頭蓋内損傷等に対する治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■呼吸器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040040xx02x0xx	肺の悪性腫瘍 肺悪性腫瘍手術 肺葉 切除又は1肺葉を超えるもの等 手術・ 処置等 2 なし	86	10.27	9.82	1.16%	68.95	
040200xx01x00x	気胸 肺切除術等 手術・処置等 2 な し 定義副傷病 なし	31	6.81	9.59	0.00%	34.45	
040150xx97x0xx	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等 2 なし	19	21.26	28.41	36.84%	66.32	
040200xx99x00x	気胸 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	13	6.08	9.28	7.69%	48.85	
040040xx9902xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2あり	-	-	18.87	-	-	

肺癌に対しての手術、化学療法による治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■ 心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
050180xx02xxxxx	静脈・リンパ管疾患 下肢静脈瘤手術等	22	2.00	2.66	0.00%	71.64	
050080xx0101xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） ロス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 1あり	15	28.07	20.84	13.33%	71.47	
050161xx9900xx	大動脈解離 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	13	20.62	16.32	7.69%	67.46	
050163xx02x1xx	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。）腹部大動脈（分枝血管の再建を伴うもの）等 手術・処置等 2 1あり	11	18.09	18.74	18.18%	73.00	
050161xx01x1xx	大動脈解離 大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 上行大動脈及び弓部大動脈の同時手術等 手術・処置等 2 1あり	-	-	29.35	-	-	

常に循環器内科と協力してチーム医療を行っています。  
最近は多くの合併症を有した症例や、重症の症例が多くなっています。  
大動脈疾患（解離や動脈瘤）の手術症例が多い傾向も見られます。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 小児外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
140590xx97xxxxx	停留精巣 手術あり	50	2.78	2.96	0.00%	3.44	
060160x101xxxxx	鼠径ヘルニア（15歳未満） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	47	2.74	2.73	0.00%	4.26	
11022xx01xxxxx	男性生殖器疾患 精索捻転手術等	25	2.32	3.53	0.00%	5.92	
060170xx02xx0x	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア等 定義割傷病 なし	10	2.20	6.85	0.00%	3.00	
140430xx99x0xx	腸管の先天異常 手術なし 手術・処置等 2 なし	10	3.00	8.20	0.00%	19.70	

鼠径ヘルニアと男性生殖器の疾患に対しての手術が上位を占めています。

■ 皮膚科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
080020xxxxxxxxx	帯状疱疹	70	9.19	9.33	2.86%	66.80	
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等 1 なし	67	12.79	12.98	2.99%	63.75	
080006xx01x0xx	皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外） 皮膚悪性腫瘍切除術等 手術・処置等 2 なし	57	4.05	6.92	0.00%	74.40	
161060xx99x0xx	詳細不明の損傷等 手術なし 手術・処置等 2 なし	12	2.00	2.63	0.00%	42.58	
080007xx010xxx	皮膚の良性新生物 皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）等 手術・処置等 1 なし	11	2.00	3.77	0.00%	60.27	

帯状疱疹に対しての治療が上位を占めています。

## ■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり	96	2.27	2.45	1.04%	71.78	
110070xx03x0xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2 なし	71	5.20	6.81	0.00%	76.00	
110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	45	11.98	11.11	0.00%	71.93	
11001xx01x0xx	腎腫瘍 腎（尿管）悪性腫瘍手術等 手術・処置等 2 なし	42	8.60	10.12	0.00%	69.74	
110420xx02xxxx	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等	30	3.47	4.07	0.00%	70.93	

前立腺癌、膀胱癌と腎癌に対しての治療が上位を占めています。  
他科のサポートとして水腎症治療も行っているため上位を占めています。

## ■ 産科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
120180xx01xxxx	胎児及び胎児付属物の異常 子宮全摘術等	88	9.86	9.40	0.00%	33.63	
120170x199xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 手術なし	29	27.45	19.47	6.90%	30.93	
120170x101xxxx	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満） 子宮破裂手術等	22	34.32	35.98	0.00%	30.45	
120160xx01xxxx	妊娠高血圧症候群関連疾患 子宮破裂手術等	18	14.33	12.73	0.00%	35.67	
120260x001xxxx	分娩の異常（分娩時出血量2000ml未満） 子宮破裂手術等	16	8.94	9.34	6.25%	34.06	

総合周産期母子医療センターを設置しているため、様々なリスクを抱えた妊産褥婦の方々の受け入れを行い周産期の管理を行っています。

## ■ 婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
120010xx99x30x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 3あり 定義副傷病 なし	164	5.45	4.12	0.00%	64.33	
12002xxx99x40x	子宮頸・体部の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 4あり 定義副傷病 なし	149	5.05	4.07	0.00%	61.93	
12002xxx02xxxx	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等	114	3.38	2.92	0.00%	43.02	
120010xx99x50x	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 5あり 定義副傷病 なし	97	4.44	3.96	0.00%	62.11	
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	62	7.81	5.97	0.00%	48.24	

子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌に対しての手術や化学療法による治療が上位を占めています。



■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	272	4.05	2.49	0.00%	77.00	
020240xx97xxx0	硝子体疾患 手術あり 片眼	29	4.90	4.83	6.90%	78.10	
020220xx97xxx0	緑内障 その他の手術あり 片眼	25	4.28	4.52	0.00%	77.08	
020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	23	4.00	4.29	0.00%	75.35	
020200xx9710xx	黄斑、後極変性 手術あり 手術・処置等 1 あり 手術・処置等 2 なし	13	7.08	5.47	0.00%	68.38	

白内障の手術が上位を占めています。  
クリニック等で対応できない難症例や、局所麻酔での手術不可能な認知症等の患者さんには全身麻酔での手術が大半を占めています。

■ 耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
030230xxxxxxxx	扁桃、アデノイドの慢性疾患	101	7.30	7.35	0.00%	24.89	
030390xx99xxxx	顔面神経障害 手術なし	51	8.12	8.50	0.00%	56.35	
030350xxxxxxxx	慢性副鼻腔炎	48	6.79	5.84	0.00%	55.67	
030428xxxx0xx	突発性難聴 手術・処置等 2 なし	40	8.15	8.21	0.00%	54.50	
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭 喉頭炎 手術なし	31	6.65	5.63	0.00%	41.90	

扁桃、アデノイドの慢性疾患に対しての手術、突発性難聴に対してのステロイド治療が上位を占めています。

■ 呼吸器腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040040xx99040x	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 4あり 定義 副傷病 なし	20	6.30	8.16	5.00%	78.85	
040040xx9905xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 5あり	18	28.56	18.72	0.00%	70.83	
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	11	21.82	18.68	0.00%	72.82	
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	11	13.55	13.41	0.00%	72.73	
040040xx9902xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2あり	-	-	18.87	-	-	

肺癌に対しての化学療法による治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 膠原病・リウマチ内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院 日数 (自院)	平均在院 日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
070560xxxx00x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	27	20.78	14.93	11.11%	66.48	
070560xxxx01x	重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 あり	-	-	24.07	-	-	
070470xx99x3xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等 2 3あり	-	-	10.76	-	-	
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	20.78	-	-	
010140xxxx00xx	筋疾患（その他） 手術・処置等 2 なし	-	-	11.40	-	-	
161070xxxx00x	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	-	-	3.58	-	-	
160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） 手術なし	-	-	19.16	-	-	
130120xxxx00x	血液疾患（その他） 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	-	-	9.17	-	-	
130070xx99x0xx	白血球疾患（その他） 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	9.43	-	-	
100202xxxxxx0x	その他の副腎皮質機能低下症 定義副傷病 なし	-	-	8.86	-	-	
090010xx99x0xx	乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	9.75	-	-	
070510xx99xxxx	痛風、関節の障害（その他） 手術なし	-	-	12.02	-	-	
010170xx99x00x	基底核等の変性疾患 手術なし 手術・処置等 2 なし 定義副傷病 なし	-	-	14.97	-	-	
070470xx99x0xx	関節リウマチ 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	15.00	-	-	
060390xxxx00xx	細菌性腸炎 手術・処置等 2 なし	-	-	7.42	-	-	
060380xxxx00xx	ウイルス性腸炎 手術・処置等 2 なし	-	-	5.55	-	-	
060270xx99x0xx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	11.41	-	-	
0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	16.40	-	-	
0400800x99x0xx	肺炎等（市中肺炎以外） 手術なし 手術・処置等 2 なし	-	-	18.16	-	-	
180060xx99xxxx	その他の新生物 手術なし	-	-	5.46	-	-	

自己免疫性疾患に対しての治療が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

ファイルをダウンロード

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	50	11	-	33	-	22	1	8
大腸癌	57	49	81	111	-	125	1	8
乳癌	93	88	38	31	-	104	1	8
肺癌	98	16	92	226	24	55	1	8
肝癌	11	16	20	12	-	48	1	8

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取り扱い規約

治療開始前の癌の進行度でステージを分類しています。  
患者数には切除不能で化学療法のみを実施した患者さんも含まれています。  
化学療法の繰り返し等で同一患者さんが複数回入院することが多いので、StageIVや再発の件数が多くなっています。  
患者数が10未満の区分については「-」で表示しています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

ファイルをダウンロード

	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	20	9.95	51.25
中等症	61	13.77	71.00
重症	24	15.71	81.17
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、通常の社会生活を送っている中で発症する肺炎のことです。  
ガイドラインによる5項目（性別や年齢、脱水症状や意識障害の有無等）に対し、何項目該当しているかで重症度を分類しています。  
患者数が10未満の区分については「-」で表示しています。

脳梗塞の患者数等

ファイルをダウンロード

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	89	25.45	73.29	45.71%
その他	16	25.13	72.00	8.57%

発症から3日以内の脳梗塞の患者さんが上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

## ■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他のもの) 等	186	1.59	1.80	1.61%	71.83	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術 心房中隔 穿刺又は心外膜アプローチを伴うもの 等	69	1.06	1.78	0.00%	68.28	
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他のもの 等	58	0.93	1.79	1.72%	71.84	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋 梗塞に対するもの 等	40	0.13	12.75	22.50%	71.35	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	38	1.26	3.11	2.63%	75.79	

心疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術が上位を占めています。  
不整脈に対するカテーテルアブレーション治療、末梢動脈疾患に対するカテーテル血管形成術が増加しています。

## ■消化管内科・肝胆膵内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径 2センチメートル未満 等	112	0.91	1.23	0.89%	67.51	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術 等	52	1.23	8.29	13.46%	74.00	
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開の みのもの 等	38	1.79	7.13	18.42%	76.37	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除 術 早期悪性腫瘍胃粘膜下層剥離術 等	37	0.73	5.97	0.00%	73.43	
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術 等	23	1.04	6.13	0.00%	64.87	

ポリープ切除術や、胆道ステント留置術等の内視鏡的治療が上位を占めています。

## ■腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K61214	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設 術）（単純） 等	14	8.07	20.71	28.57%	71.36	
K6147	血管移植術、バイパス移植術 その他の動 脈 等	-	-	-	-	-	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 c m未満）	-	-	-	-	-	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	-	-	-	-	-	
K5091	気管支異物除去術（直達鏡）	-	-	-	-	-	
K5973	ペースメーカー移植術（リードレスペー スメーカー）	-	-	-	-	-	
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	-	-	-	-	-	
K5522	冠動脈、大動脈バイパス移植術 2 吻合以 上のもの	-	-	-	-	-	

透析が必要な患者さんへの内シャント設置術が上位を占めています。手術は心臓血管外科の医師が行います。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■呼吸器内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K496-5	経皮的膿胸ドレナージ術	11	0.55	17.09	9.09%	74.09	
K6151	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）止血術等	-	-	-	-	-	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	
K496-4	胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	-	-	-	-	-	
K522-2	食道ステント留置術	-	-	-	-	-	

経皮的膿胸ドレナージ術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■脳神経内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）等	14	25.36	22.86	85.71%	76.93	
K386	気管切開術	10	11.90	39.20	60.00%	74.20	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	-	-	-	-	-	
K7211	内視鏡的大腸 <sup>※</sup> リープ・粘膜切除術(長径2cm未満)等	-	-	-	-	-	
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	-	-	-	-	-	

患者さんの回復に向け、他科と連携して治療を行っています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■新生児科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K9131	新生児仮死蘇生術（1度）等	44	0.00	40.27	2.27%	0.00	
K9132	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの等	24	0.00	63.92	0.00%	0.00	
K734	腸回転異常症手術	-	-	-	-	-	
K6441	臍腸管瘻手術（腸管切除を伴わない）	-	-	-	-	-	
K173	脳・脳膜脱手術	-	-	-	-	-	

総合周産期母子医療センターを設置しているため、リスクのある新生児が多く出生直後の仮死蘇生術が上位を占めています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除)腋窩部郭清を伴わない等	95	1.76	12.18	1.05%	68.08	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	77	1.65	5.01	5.19%	66.70	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）等	65	1.02	3.25	1.54%	70.38	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	62	2.89	13.19	6.45%	73.35	
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）等	49	1.02	5.08	0.00%	58.16	

「消化器外科」と「乳腺外科」の患者数を合算して集計しています。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K0461	骨折観血的手術（大腿）等	67	2.70	16.52	74.63%	76.22	
K0821	人工関節置換術（股）（THA）等	52	1.60	22.79	7.69%	71.88	
K0811	人工骨頭挿入術（股）等	36	3.14	13.58	77.78%	77.19	
K0462	骨折観血的手術（前腕）等	32	3.38	13.16	40.63%	61.75	
K0483	骨内異物（挿入物）除去術（前腕）等	21	0.90	3.52	4.76%	43.33	

骨折の観血的手術、人工関節置換術が上位を占めています。  
急性期の治療が終了した後は、地域の医療機関と連携し在宅復帰を支援しています。

■ 形成外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K0051	皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 未満）等	16	0.75	1.00	0.00%	11.19	
K0052	皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 以上 4 cm 未満）等	14	0.57	1.93	0.00%	27.29	
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 長径 3 センチメートル未満 等	11	0.55	2.27	0.00%	36.00	
K0063	皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm 以上）等	10	0.90	4.70	0.00%	51.30	
K0152	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術（25～100cm <sup>2</sup> 未満）等	-	-	-	-	-	

特に露出部など整容性が求められる部分の手術を多く行っています。  
なるべくきれいな傷跡になるよう心がけています。  
患者数が10未満の症例は「-」で表示しています。

■ 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K164-2	慢性硬膜下血腫洗浄・除去術（穿頭）等	19	0.95	17.74	63.16%	78.00	
K1742	水頭症手術（シャント手術）VP 等	-	-	-	-	-	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）等	-	-	-	-	-	
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）等	-	-	-	-	-	
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）等	-	-	-	-	-	
K181-2	脳刺激装置交換術	-	-	-	-	-	

慢性硬膜下血腫に対する手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■呼吸器外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの 等	46	1.00	9.83	2.17%	69.17	
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの） 等	29	2.83	3.17	0.00%	34.03	
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）等	20	1.00	4.75	0.00%	70.90	
K514-22	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）等	17	1.35	9.06	0.00%	68.18	
K513-2	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器使用） 等	12	1.00	4.50	0.00%	53.83	

肺癌の手術が上位を占めています。

■心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K617-6	下肢静脈瘤血管内塞栓術	12	0.00	1.00	0.00%	68.42	
K5551	弁置換術 1弁のもの	-	-	-	-	-	
K617-4	下肢静脈瘤血管内焼灼術	-	-	-	-	-	
K5607	大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 腹部大動脈（その他のもの）	-	-	-	-	-	
K6147	血管移植術、バイパス移植術 その他の動脈 等	-	-	-	-	-	
K5601-	大動脈瘤切除術（吻合又は移植を含む。） 上行大動脈 その他のもの 等	-	-	-	-	-	

大動脈手術（解離や動脈瘤）の手術が多い傾向にあります。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■小児外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	62	0.71	0.98	0.00%	4.44	
K836	停留精巣固定術	48	0.75	1.00	0.00%	3.77	
K6333	臍ヘルニア手術	-	-	-	-	-	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの） 等	-	-	-	-	-	
K8282	包茎手術（環状切除術） 等	-	-	-	-	-	

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

## ■皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）等	71	0.14	2.32	0.00%	74.96	
K0061	皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3 c m未満）等	10	0.00	1.10	0.00%	60.10	
K0051	皮膚腫瘍摘出術（露出部）（長径2 c m未満）等	-	-	-	-	-	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2 c m未満）等	-	-	-	-	-	
K013-21	全層植皮術（2 5 c m 2 未満）	-	-	-	-	-	
K013-22	全層植皮術（2 5 c m 2 以上1 0 0 c m 2 未満）	-	-	-	-	-	
K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径3 c m以上6 c m未満）等	-	-	-	-	-	
K293	耳介悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-	
K617-6	下肢静脈瘤血管内塞栓術	-	-	-	-	-	
K216	眼瞼結膜悪性腫瘍手術	-	-	-	-	-	

皮膚癌に対する手術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

## ■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K80364	膀胱悪性腫瘍手術（電解質溶液利用のもの）等	76	0.99	3.32	0.00%	75.59	
K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）等	45	1.00	9.98	0.00%	71.93	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	43	0.74	4.21	4.65%	71.81	
K773-51	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） 原発病巣が7センチメートル以下のもの 等	32	1.00	6.03	0.00%	68.59	
K800-2	経尿道的電気凝固術	21	0.95	3.90	4.76%	76.86	
K7811	経尿道的尿路結石除去術 レーザーによるもの 等	21	1.00	2.57	0.00%	70.10	

膀胱癌、前立腺癌、腎癌に対する手術が上位を占めています。  
また、他科のサポートとしての水腎症に対する経尿道的手術も多く行っております。

## ■産科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）等	94	6.97	6.68	0.00%	33.99	
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）等	72	10.78	7.03	0.00%	32.56	
K9062	子宮頸管縫縮術（シロツカー法）等	-	-	-	-	-	
K6154	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの 等	-	-	-	-	-	
K902	胎盤用手剥離術	-	-	-	-	-	
K6151	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（止血術）	-	-	-	-	-	
K897	頸管裂創縫合術（分娩時）	-	-	-	-	-	

総合周産期母子医療センターを設置しているため、帝王切開分娩が必要となるようなハイリスク妊娠の患者さんの受け入れが多くなっています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。



■ 婦人科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K867	子宮頸部（腔部）切除術	105	0.92	1.54	0.00%	44.71	
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）等	91	1.48	5.14	0.00%	47.11	
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	52	1.35	6.21	0.00%	52.44	
K877	子宮全摘術	40	1.23	7.80	0.00%	53.95	
K879	子宮悪性腫瘍手術等	36	2.58	17.25	5.56%	60.58	
K8881	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）等	36	1.64	8.08	0.00%	55.86	

子宮頸部（腔部）の切除術が上位を占めています。この手術は、子宮頸部の初期病変に対し診断や治療目的のために行われます。

■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K28210	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの等	296	1.00	2.05	0.00%	76.84	
K2801	硝子体茎顕微鏡下離断術 網膜付着組織を含むもの	28	1.04	4.14	0.00%	69.86	
K2802	硝子体茎顕微鏡下離断術 その他のもの	21	1.00	3.19	9.52%	78.38	
K26824	緑内障手術 流出路再建術 眼内法等	16	1.00	2.38	0.00%	73.50	
K2686	緑内障手術 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術等	-	-	-	-	-	
K279	硝子体切除術	-	-	-	-	-	

白内障に対する水晶体再建術が上位を占めています。  
患者数が10未満の術式は「-」で表示しています。

■ 耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K3772	口蓋扁桃手術 摘出等	111	1.02	5.39	0.00%	26.48	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 I I I 型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）等	34	1.24	5.00	2.94%	58.62	
K340-6	内視鏡下鼻・副鼻腔手術 I V 型（汎副鼻腔手術）等	18	1.00	4.94	0.00%	48.22	
K3932	喉頭腫瘍摘出術 直達鏡によるもの等	18	1.72	4.06	0.00%	63.39	
K309	鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	16	1.00	1.00	0.00%	4.31	

扁桃、アデノイドの慢性疾患に対する口蓋扁桃手術が上位を占めています。

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	18	0.15%
		異なる	13	0.10%
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	59	0.48%
		異なる	-	-

「入院契機」とは入院に至った病名のことを表しています。  
入院契機が「同一」とは各傷病名の治療目的で入院したものであり、入院契機が「異なる」とは本来の治療目的ではない各傷病名が入院期間の主な治療対象となったものです。  
手術・処置等の合併症の主な内訳は、前回入院時の手術後の出血、消化管切除の続発的な吻合部狭窄、透析シャントの閉塞・感染等で、これには他施設由来の合併症も含まれています。また、直近の手術・処置により発症した合併症から、数年経過後に発症したもの、植え込み式電気刺激装置の機械的不具合なども含まれています。  
10未満の数字は「-」で表示しています。

医療の質指標

リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 [ファイルをダウンロード](#)

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（分母）	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数（分子）	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率
1,503	1,221	81.24%

周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることに繋がります。  
当院では、肺血栓塞栓症の予防を目的として、必要な機器又は材料を用いて計画的な医学管理を行っています。

血液培養 2 セット実施率 [ファイルをダウンロード](#)

血液培養オーダー日数（分母）	血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数（分子）	血液培養 2 セット実施率
2,745	1,649	60.07%

血液培養は1セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2セット以上行うことが推奨されています。  
※令和6年度には、世界的な血液培養ボトルの供給不足が発生したことが影響しています。

広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率 [ファイルをダウンロード](#)

広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数（分母）	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数（分子）	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率
818	768	93.89%

細菌培養検査とは患者さんが持つ菌を検査室で増やし、病気の原因となっている菌の種類や効果のある薬を調べる検査です。  
不適切な抗菌薬の使用は、耐性菌の発生や蔓延の原因になることから、当院では、抗菌薬適正使用を推進する取り組みを行っています。

転倒・転落発生率 [ファイルをダウンロード](#)

退院患者の在院日数の総和 もしくは入院患者延べ数（分母）	退院患者に発生した転倒・転落件数（分子）	転倒・転落発生率
173,691	295	0.00%

入院患者の転倒・転落は、患者が自立的に活動される限り、完全に防ぐことはできませんが、発生率を少しでも減らすために、転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みを行っています。

転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率 [ファイルをダウンロード](#)

退院患者の在院日数の総和 もしくは入院患者延べ数（分母）	退院患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落の発生件数（分子）	転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率
173,691	3	0.00%

インシデント影響度分類レベル3 b 以上とは、傷害の継続性や程度が、ある一定以上の高度な領域に分類されるレベルのものです。  
入院患者の転倒・転落は、患者が自立的に活動される限り、完全に防ぐことはできませんが、発生率を少しでも減らすために、転倒・転落発生リスクを低減していく取り組みを行っています。

手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率 [ファイルをダウンロード](#)

全身麻酔手術で、 予防的抗菌薬投与が実施された 手術件数（分母）	分母のうち、手術開始前 1時間以内に予防的抗菌薬が 投与開始された手術件数（分子）	手術開始前1時間以内の 予防的抗菌薬投与率
2,453	2,447	99.76%

手術後の感染をできるだけ防ぐために、抗生物質をあらかじめ投与することを予防的抗菌薬投与といいます。  
開胸、開腹を伴う手術等は、手術開始直前に抗菌薬を点滴などで投与することにより、手術後の感染を抑えることが期待されています。

d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

[ファイルをダウンロード](#)

退院患者の在院日数の総和もしくは 除外条件に該当する患者を除いた 入院患者延べ数（分母）	褥瘡（d2（真皮までの損傷）以上 の褥瘡）の発生患者数（分子）	d2（真皮までの損傷）以上の 褥瘡発生率
173,506	41	0.00%

褥瘡の発生は患者の生活の質（QOL）を低下させる要因となり、在院日数の長期化にもつながります。  
褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり、栄養管理、日常ケアの質評価に関係します。

65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

[ファイルをダウンロード](#)

65歳以上の退院患者数 （分母）	分母のうち、入院後48時間以内に 栄養アセスメントが実施された 患者数（分子）	65歳以上の患者の入院早期の 栄養アセスメント実施割合
6,562	6,427	97.94%

入院早期に低栄養リスクを評価し適切な介入をすることは、在院日数の短縮、予後改善につながります。

身体的拘束の実施率

[ファイルをダウンロード](#)

退院患者の在院日数の総和 （分母）	分母のうち、身体的拘束日数の総和 （分子）	身体的拘束の実施率
133,041	7,578	5.70%

身体的拘束とは、抑制帯等を使用して、一時的に患者の身体を拘束し、その運動を抑制することを指します。  
安易な身体的拘束は慎むべきものであり、抑制の程度が強い場合は、二次的な身体的障害が生じる可能性もあるため、  
できる限り早期に他の方法に切り替えるよう努めなければならないものとされています。

更新履歴

2025/09/30

公開